

越境する うた

國學院大學文学部
外国語文化学科
《多言語・多文化の交流と共生》
プロジェクト

*Canto
Migrante*

2017.7.4 〔火曜日〕

開場 | 18:00 開演 | 18:30 (終演予定20:30)

会場 | 國學院大學渋谷キャンパス

学術メディアセンター1階 常磐松ホール

(〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28)

※入場無料・申込不要

クレオール・ニッポンから世界の海へ、
うたがつなぐ土地の記憶・移動の軌跡

松田美緒 うた

山口亮志 ギター、ブズーキ

トークゲスト・小泉凡 (鳥根県立大学短期大学部教授・小泉八雲記念館館長)

司会・笠間直穂子 (國學院大學文学部外国語文化学科准教授)

photo by Shoko Kazami

もっと日本を。もっと世界へ。

 國學院大學

お問い合わせ
國學院大學文学部 笠間研究室
Tel 03-5466-6270
Fax 03-5466-4814
E-mail kasama@kokugakuin.ac.jp





ポルトガル、ブラジル、ウルグアイ、アルゼンチン、カーボ・ヴェルデ——国を越え、大陸を越えて、スペイン語・ポルトガル語世界をわたりあるくように土地ごとの暮らしに分け入り、人々の胸に息づくうたの数々を届けてきた松田美緒。新境地となったCDブック『クレオール・ニッポン うたの記憶を旅する』（2014）では、徳島・祖谷の民謡長崎・伊玉島のキリシタンの歌から小笠原諸島の歌、ブラジルとハワイの移民に歌い継がれた歌まで、うたを通じて日本の多様な原風景を浮かびあがらせた。最新アルバム『エーラ』（2017）はギリシャとポルトガルで録音。ラフカディオ・ハーンハーン＝小泉八雲の生まれたギリシャ・レフカダ島の曲をはじめ、地中海から大西洋にかけて船を走らせるかのごとき壮大なスケールの作品に仕上がっている。今回の國學院大學《多言語・多文化の交流と共生》プロジェクト主催ライブ&トーク「越境するうた」では、国境・文化を越えて活動する山口亮志（ギター、ブズーキ）とともに『エーラ』収録曲を中心にうたう。トークゲストは小泉八雲記念館館長の小泉凡。曾祖父にあたるハーンは、レフカダ島に生まれ、アイランドに育ち、アメリカ合衆国、カリブ海のフランス領マルティニクを経て日本にたどりつき「小泉八雲」となった。旅、うた、記憶、ハーンという存在をめぐる、歌手・ギタリスト・民俗学者が語りあう。

出演者プロフィール

松田美緒



歌手

土地と人々に息づく音楽のルーツを魂と身体で吸収し表現する。現代の吟遊詩人。その声には彼女が旅した様々な地域の魂が宿っている。大西洋をテーマにブラジルで録音した『アトランティカ』で2005年にビクターよりデビューし、以来ポルトガル、ブラジル、ウルグアイ、アルゼンチン、ベネズエラ、ペルー、カーボヴェルデなどポルトガル語・スペイン語圏の国々で、現地を代表する数々のミュージシャンと共演アルバム制作を重ねる。2014年、3年がかりのライブとフィールドワークの集大成として初のCDブック『クレオール・ニッポン うたの記憶を旅する』を発表。ブラジル・ハワイ移民の歌を含め、日本各地の忘れられた歌を現代に瑞々しく蘇らせた作品は高い反響を呼び、文藝春秋「日本を

代表する女性120人」に選ばれる。第2回「月と雪」を始め、10枚以上のCDに参加。映画「シネマの天使」でギター演奏を担当。12弦ギター、ギリシャ・ブズーキ、シンセサイザーギターなども演奏。クラシックギター誌「Guitar Dream」に取り上げられる。ウェブサイト：www.ryojiyamaguchi.com

山口亮志



ギター

イスラエルで生まれ、ギリシャ、メキシコ、日本、エル・サルバドルや米国で暮らす。マイアミ大学フロスト音楽院でクラシックギターをレネ・ゴンザレス氏に師事。2004年マイアミ国際ギターコンクール優勝。セファルディ民謡、タンゴ、アイルランド、アフリカ音楽、能楽師との共演など、活動は多岐にわたる。日本全国、アメリカ、ヨーロッパ、ジャマイカ、カーボ・ヴェルデで演奏。K.I.I.I. c o b a. アル・チナ・スミス

小泉凡



島根県立大学短期大学部教授・小泉八雲記念館館長。1961年東京生まれ。成城大学・同大学院で民俗学を専攻後、1987年に松江へ赴任。妖怪、怪談を切り口に、文化資源を発掘し観光・文化創造に生かす実践研究や、小泉八雲の「オープン・マインド」を社会に活かすプロジェクトを世界のゆかりの地で展開する。著者に民俗学者・小泉八雲（恒文社、1995年）、「怪談四代記八雲のいたずら」（講談社、2014年）ほか。小泉八雲曾孫。日本ペンクラブ会員。

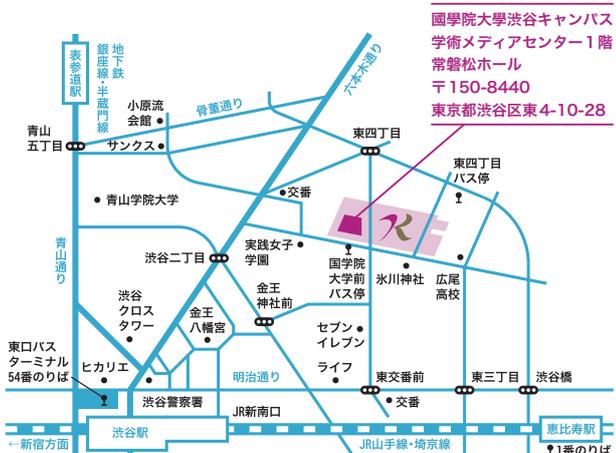
國學院大學文学部外国語文化学科

《多言語・多文化の交流と共生》プロジェクトとは
國學院大學文学部外国語文化学科では、実践的な英語学修とともに、第二外国語の修得にも力を入れ、多様な言語・文化に開かれた真にグローバルな人間の育成を目指しています。こうした学科の趣旨にのっとり、2015年に本プロジェクトを立ちあげ、複数の言語・文化が交わる現場に着目したイベントを継続的に開催しています。

これまでの開催イベント

- 2015.7 映画「異境の中の故郷」上映会&トークショー
- 2015.10 ワエル・クテ講演会「いま、レバノンに生きるということ」(文学部講演会)
- 2016.7 Ky+ゲスト「旅する音楽」コンサート
- 2016.12 ばくきょんみ講演会「ことばと出会う」(文学部講演会)

※今後のイベント予告メールの受信をご希望の方は、kasama@kokugakuin.ac.jpでお知らせください。



会場アクセス

- ・ 渋谷駅から徒歩約13分または都営バス(渋谷駅東口バスターミナル54番のりば学03日赤医療センター行)「国学院大学前」下車
- ・ 恵比寿駅から徒歩約15分または都営バス(恵比寿駅西口ロータリー1番のりば学06日赤医療センター行)「東四丁目」下車
- ・ 表参道駅B1出口から徒歩約15分